

中央会はインボイス延期を要望

寺本さんからの業者団体懇談の報告

ヒロシマ地域総行動の業者団体懇談に参加しました。

始めに「広島県経営者協会」へ、県労連（広島県労働組合総連合）の神戸議長や市内民商と4名で訪問しました。

経営者協会は、西川ゴム工業（会長）、大和重工（会長）、広島銀行（常務執行役員）、マツダ（執行役員）など、そこそこの地元企業が揃っている協会で、

上部団体は日本経済連合会になります。主に各企業の部長・課長クラスへのセミナーをおこなっています。



賃上げやインボイスで懇談

労働者の大幅賃上げについては「大手企業以外は難しいのではな

いか。大手企業（2・8%）、中企業（1・9%）しか実現できず、

国の言う5%には届かない。コロナ禍で落ちた体力を取り戻すのが精一杯で、賃上げの問題は企業ではなく、国が考えることではないかと思う」と回答しました。

インボイス制度では「中小零細企業も、そのまま消費税を請求すれば良いのではと、大きな温度差がある。協会は上部団体から降りたことをそのままやっている」。

人材難に対しては「そもそも人が減っているのが難しい、賃上げもむずかしいのでは」。

インボイスで共有できる部分も

続いて、「広島県中小企業団体中央会」を訪問しました。

インボイス制度については、「小さな事業協同組合もある

が、この先成り立たなくなる。中央会としても経済産業省に『延期』を求めると話した。

昨年11月には西村経済産業大臣が広島に来た時に『延期』の要請をした、「連

合会の会長が宮沢洋一大臣にも延期のお願いに行ったが、難しいと言われた」、「そもそもインボイス制度自体が分かりにくく、今もって分からない人がいるし、免税点を3千万円から1千万円に下げたこと自体に課題が残っている」と、団体の考

えとしてインボイス延期を求め行動している」と回答がありました。

人材難に対しては、外国人労働者などの受け入れを政府がどんどんおこなっている状況を話されました。

今回訪問した団体は、どちらも所属している企業がそここの会社なので、民商会員の規模とはかなりの温度差があると感じました。

【要求運動部長・可部北支部長 寺本政喜記】

会外向け『なんでも相談会』終了

15名の業者が相談に来所



インボイス署名の協力を訴える大久保さん

北区民文化センターで業者7組を含む14組19名が来所しました。対応は可部亀山支部や可部北支部を中心に9名で相談に乗りました。

今回の相談会でもインボイスについての相談が多く寄せられ、可部亀山支部の大久保支部長（民商副会長）が制度の問題点や署名運動で延期・中止を求めている民商の活動も交えて紹介しました。来

所された方は、左官工事や電化製品販売、不動産収入など様々で、国から押し付けられる一方的な負担増への怒

りの声も聞かれました。また、法人の廃業を考えている人や、昨年個人タクシーを廃業し組合を辞めたため申告を自分でしないといけなくなつた人などの相談もありました。

今回の相談会には、3回で34組42名が来所され、業者の相談は15組ありました。商売に活かせるとお薦めした商工新聞も、9名が購読してくれることになりました。

申告計算班会も全日程を終了



あさひ支部

高陽支部

北広島支部

【陶山記】今週の商工新聞は、県内からも三原民商、広島西部民商、尾道民商が登場しています。併せてご覧ください。

3月

- ◎6日（月）三役会
- ◎7日（火）婦人部役員会
- ◎8日（水）組織・共済拡大デー
- ◎9日（木）陽気な道場
- ◎10日（金）重税反対全国統一行動 広島北集会

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は『陽気な道場』へ 毎週木曜日 夜7時から

法人の会員さんも一緒に税金学習を『法人学習会』 毎月第4火曜日 昼1時30分と夜7時 『税務調査の対策会議』は随時開催します!!